

Next 70th

～魅力ある協同組合を目指して～

J A 福山市
前堀 光弘

J A 福山市の概況

J A 福山市は今年度設立60周年という節目の年を迎え、食と農を基軸として地域に根ざした協同組合として、助け合いの精神のもとに、持続可能な農業と豊かで暮らしやすい地域社会の実現のために「身近で親しまれるJ A」を目指して、役職員一丸となって各事業を進めている。

▶ 基本方針

- 組合員や地域住民との関係強化
- 地域農業の振興
- 経営基盤の強化

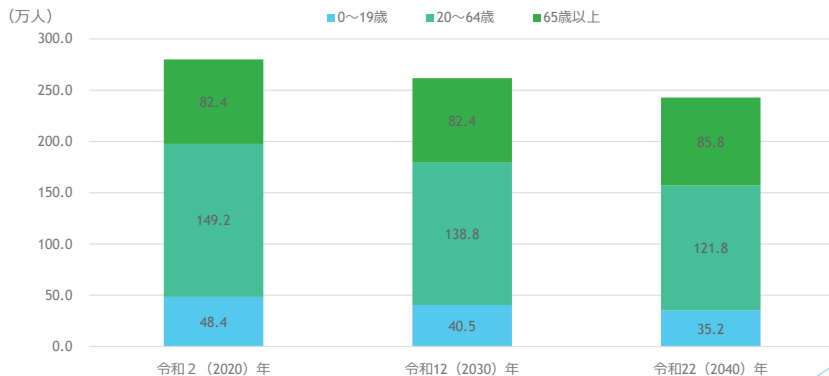


広島県の人口分析

広島県 転出超過数

令和3(2021)年	令和4年(2022)年	令和5(2023)年
7,159人	9,207人	11,409人

広島県 人口推移予測

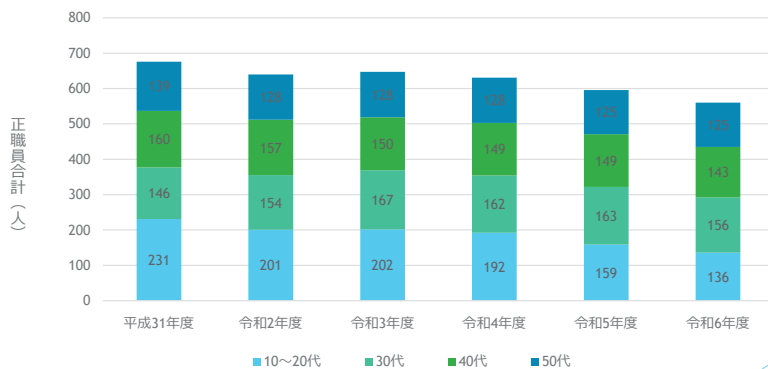


J A 福山市の現状分析

J A 福山市職員数（雇用形態別）※各年度4月1日基準（単位：人）

	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
正職員	676	640	647	631	596	560
嘱託職員	41	39	37	42	45	47
パート	359	365	346	320	313	298
合計	1076	1044	1030	993	954	905

正職員の年代別構成人数と推移



J A 福山市の若年層職員に対するSWOT分析

	プラス要因	マイナス要因
内部環境	強み【Strength】 <ul style="list-style-type: none"> ・総合事業による選択肢の多さ ・休暇や福利厚生等の充実 ・業務に応じた研修制度 ・幅広い知識の習得（金融、営農、福祉等） ・資格取得の奨励 ・地域に根ざした組織 ・人事異動等による職員との関わり 	弱み【Weakness】 <ul style="list-style-type: none"> ・競争力の低下 ・主体性の欠如（やらされ感） ・キャリアプランが持てない ・職員不足による業務負担の増加 ・職員間のコミュニケーション不足 ・希望部署への異動が難しい ・モチベーションの低下 ・各事業における知識・スキル不足
外部環境	機会【Opportunity】 <ul style="list-style-type: none"> ・働き方改革 ・育児介護休業法の改正 ・人生100年時代 ・定年雇用の延長 ・食料農業農村基本法の改正 ・女性活躍社会の推進 ・他 J A 職員との交流 	脅威【Threat】 <ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化による人口減少 ・広島県における転出超過 ・農業人口の減少 ・J A 利用者の減少 ・競争他社が多い ・転職に対する意識の変化 ・他社における中途採用の拡充

J A 福山市の若年層職員に対する課題

J A 福山市の若年層職員に対する課題をクロス分析にて抽出

【強み×機会】

支店・地域・J A を越えた職員同士のつながりを持ち、その中で情報交換を行うことで、主体性を持った職員の育成につなげる。

【強み×脅威】

差別化戦略として地域に根ざした組織の強みを生かした採用方法の検討やインターンシップへの取り組みを行う。

【弱み×機会】

段階的戦略として働き方改革が行われる中で、どのようにして若年層職員が自身の理想の働き方を追求していくかを考える。

【弱み×脅威】

人口減少によって新規採用者の数が減っていく中で、一人当たりの業務量を増やさない事業の効率化を目指したビジネスモデルを提案する。

課題解決に向けた取り組み

名称	「Next 70th」プロジェクト（仮称）
目的	・ J A 福山市の各事業や管内農畜産物の P R ・ J A 福山市と自分自身の未来像を描くこと
対象職員	20～30代の職員の中からの公募とし、15～20名程度選抜する
基本理念	「良い組織、良い職場は職員自らが作る」
所属	自らの配属先とは別に人事課・教育研修課と連携したチームとする
取組内容	・ 新規業務および業務効率化に関するビジネスアイデアを求める「ビジネスコンテスト」の開催 ・ 管内農畜産物を活用した「新商品コンテスト」の開催 ・ インターンシップや新規採用の面接時に就活生と面談 ※中途採用時には年齢の近いプロジェクトチームの職員が対応 ・ メンター制度の導入 ・ 他企業・組織との情報交換会、交流会の開催

他組織・企業との連携

他組織・企業が取り組んでいる内容や働き方の違いを情報交換会や交流会を通じて知ること、相互理解の醸成やプロジェクトの活動内容、自身の業務に生かしていく。また、近隣の大学と連携することで学生のUIターンの一助となることを目的とする。

▶ 他組織・企業の一例

- (1) JA広島農青連
- (2) 広島県「若者減少・人員不足対策プロジェクト・チーム」
- (3) 広島銀行「未来創造タスクフォース」
- (4) 生活協同組合コープこうべ
- (5) 福山大学 生命工学部

目指す姿

- ▶ プロジェクトを通じて自ら考え、行動できる職員を育成する。
- ▶ プロジェクトで得られた経験を自身の所属先、先輩・同期・後輩へ波及させていく発信源としての役割を担う。
- ▶ ビジネスコンテストや新商品コンテストの様子を内外に周知することでJA福山市の事業アピールや管内農畜産物のPRを行う。
- ▶ 他組織・企業と連携を取ることでJA福山市の認知度向上を図る。
- ▶ 新入職員の不安解消を行い、組織定着を図る。
- ▶ 大学と連携を取ることで新入職員増加へ繋げる。

JA福山市設立70周年に向けて、より一層地域に必要とされる魅力ある組織となる。

ご清聴ありがとうございました。